

っている1頭を採集した。もっとあたりを注意深く探せば他にもいたのかも知れないが本種であることが帰宅後わかったもので非常に残念なことをしたと思っている。機会があれば再調査に行きたいと思う。本種の兵庫県下の記録は山本義丸氏による氷上郡があるだけである(詳しいデータは無い、1958)。その意味からすれば珍種ということになると思われるが何分小さい種で今迄見落されていたことも充分考えられ、また記録されていないだけで採集された未発表記録があるように思われ追加報告を待ちたいと思う。現地は平地に近い状況の所で恐らく神戸市内のみならず県下に広く分布しているのではないかと思う。原色で図説されているが(黒沢、1968)、実際には非常に小さく可成り注意しなくてはならない種である。ススキの茎を食べ、アレチノギクなどいろいろの植物の葉上で見つかることが多いとある(黒沢、1975)。

## ミヤマカラスアゲハ・ナガサキアゲハ 神戸市内における記録

高橋 寿郎

ミヤマカラスアゲハに就いての従来の六甲山系の記録は前号にまとめたが、今回それ以外の記録があるので報告しておきたい。また1980年8月下旬から9月上旬にかけてナガサキアゲハの神戸市内での採集、目撃記録が大変多いのでこれ等もまとめておきたい。

両種の貴重な記録の発表を赦された小林桂助・蜂谷幸雄・川本 明の諸氏に心より厚く御礼申しあげる。

ミヤマカラスアゲハ：東灘区岡本(甲南大学裏山)，1♂，1969年9月初旬，蜂谷氏採集。兵庫区新開地2丁目(ラッキーボール店正面ウインド)，1♀，1977年8月22日，蜂谷氏採集。鳥原貯水池畔，1♂，1980年5月28日，高橋採集。北区鈴蘭台，1♀，1980年9月3日，1♂，1980年9月9日，川本氏採集他に1♀と♂数頭目撃。藍那東部，1♂，1♀，1980年9月3日，1♂，1980年9月9日，川本氏採集，他に藍那小学校付近と藍那～小川間で1980年9月9日各1♂が目撃される。須磨区須磨浦，1♂，1974年9月6日蜂谷氏採集。

ナガサキアゲハ：東灘区岡本(甲南大学裏山)，1♂，1970年8月子供が虫カゴの中に入れていたのを目撃(蜂谷氏)。灘区六甲登山口，1♀，1979年7月15日，1♀，1980年9月4日

(共に小林氏目撃)。1 ♀, 1980年8月28日, 笠松靖央君採集(標本高橋確認写真撮影 於神戸生物クラブ同定会)。灘区青谷, 1 ♀, 1980年8月中旬(岡村八郎氏持参標本高橋確認, 於神戸生物クラブ同定会)。生田区加納町8丁目, 1 ♀, 1980年9月18日, 松崎氏採集(蜂谷氏)。兵庫区烏原貯水池畔, 1 ♂, 1980年9月1日, 1 ♂, 9月4日, 高橋採集。1 ♂, 9月2日, 高橋目撃。北区五葉町, 1 ♀, 1980年9月14日, 川本 明 採集。須磨区須磨浦, 2 ♂, 2 ♀, 1980年8月31日, 松下 猛 氏採集, 他に数頭目撃。1 ♂, 1 ♀, 9月6日, 小林氏採集。1 ♂, 9月6日, 1 ♂, 9月13日共に 張 英彦 氏採集(以上須磨の記録は全部小林氏より)。垂水区伊川谷町南別府, 1 ♂, 1 ♀, 1980年8月下旬, 朝生泰浩君採集(神戸市学童理科作品展に出品高橋確認)。

また、小林桂助氏からの御連絡によると舞子の裏山で本年8月下旬から9月15日までに加藤昌広氏がナガサキアゲハ, 19 ♂, 1 ♀, ミヤマカラスアゲハ2 ♀を採集されているとのこと。本年だけのナガサキアゲハの記録は以上からして30頭近くになるが、勿論之は筆者の知り得たものだけで恐らく他にも採集, 目撃記録はあるものと思われる。

ナガサキアゲハの神戸市内での記録は以上の外に須磨区板宿, 1 ♀, 1967年8月3日, 藤本寛採集(山本, 1968)と、兵庫区和田岬(運南地区), 1 ♂, 1972年7月上旬, 1 ♀, 同年7月23日, 人見 勝 氏採集, 記録(1972)がある。

共に美しい蝶であるから六甲山系に定着してほしいと考える。